

議会運営委員会

開催日 平成19年3月6日

- 委員長 猪狩 新一郎
- 副委員長 松本 浩司
- 委員 中津 伸一
- 委員 塩田 史子
- 委員 渡邊 正俊

平成19年3月定例会の日程および提出予定議案、一般質問および陳情書、地方自治法の一部改正にともなう議会会議規則・同委員会条例の改正について審議しました。



サッカーを愛する子どもたち（サッカースポーツ少年団）

総務常任委員会

大規模改修への備えを

開催日 平成19年2月9日

- 委員長 司 範一郎
- 副委員長 浩 正伸
- 委員 本木 津狩本
- 委員 松鈴 中猪坂

(1) 国際人育成支援事業

19年度は屋根つきサッカーグラウンド建設および駐車場整備、20年度は男子寄宿舎増築工事が予定されています。

これら施設の小規模メンテナンスはサッカー協会ですが、大規模改修の場合も、町だけの負担にならぬようサッカー協会や県を含めた協議機関の設置が必要です。

(2) 町民参加の施策と行政業務の効率化

集中改革プラン※（平成17年度〜21年度）によれば、町は町民と行政との協働化により一体となつたまちづくりを推進し、行政業務

(3) ニーズ沼総合公園内直売所の開設

当面は土曜・日曜、週2日の営業でスタートしますが、平日の営業についても検討すべきです。組合の意向を十分に尊重して自主的な運営を支援するよう努め、町内農業の振興に寄与する施設となるよう要望しました。

(4) 集落営農

集落営農は、国の大きな農業政策ですが、本町特有の地形や農業形態には適合しない面も多々あるようです。

の結合と効率化をはかりながら、地方分権の確立と広域的な連携・連合の実現を目指しています。今後は、目標と実績を比較しつつ情報を開示し、現実的・効率的な運用に努めるよう提言しました。



広野町サッカー支援センター開所式

※集中改革プラン

- ①事務事業の再編・整理、廃止・統合
- ②民間委託の推進
- ③定員管理の適正化
- ④給与・手当の適正化
- ⑤第三セクターの見直し
- ⑥経費節減等の財政効果
- ⑦地方公営企業関係

今後は各農家との話し合いを密にして、地域の特性を十分認識し、慎重に指導するよう要望しました。

(5) 平成18年度工事発注状況

昨年11月以降に発注された主な工事について説明を受けました。町民生活に支障をきたさないためにも、年度内完成に向けて努力するよう要望しました。

(6) 平成18年度災害復旧事業

昨年6月と10月に発生した豪雨災害による被災箇所については、計画どおり復旧に向けて動いていることを確認するとともに、住民生活が1日も早く平常に戻れるよう要望しました。

(7) 生活道路現道舗装事業

平成19年度も15路線の整備を図りたい旨の説明がありました。町民ニーズの高いところや高齢者の一人暮らし等、個々の状況を見極めながら事業を推進するよう要望しました。

産業常任委員会

地域特性に配慮した農業政策を

開催日 平成19年2月14日

- 委員長 俊平 蔵長
- 副委員長 正良 栄久
- 委員 邊妻 川辺
- 委員 渡新 佐渡

(1) 平成18年度産米の生産目標

平成18年度産米の生産調整は目標数値を上回り、達成率は102.89パーセントになりました。

(2) 平成19年度産米の生産目標

平成19年度の水稲作付可能面積は約187・195ヘクタールで、前年度と比べて約7・129ヘクタール減っています。

目標達成のためには、低力口リー米やβカロチン含有米等、高機能米栽培に注目し、これらの情報収集に努めるよう提言しました。



傾斜地に設けられた水田（上浅見川字長畑）

文教厚生常任委員会

給食費負担は保護者の責任

開催日 平成19年2月13日

- 委員長 子徳 昭雄
- 副委員長 史政 紀利
- 委員 塩黒 田木 磯
- 委員 塩黒 鈴木 小

(1) 双葉地区教育構想

本町に係るJFAアカデミー生については、第2期生として南は宮崎県から北は茨城県まで、15人の入学が決定しています。

中学校におけるアカデミー生の増加にともない、通学手段など、さまざまな問題が懸念されることから、関係機関の連絡を密に対応し、特にサポートファミリーの増員に早急に取り組むよう要望しました。

また、アカデミー生の受け入れから1年が経過することから、学力の動向についても注目して行くよう提言しました。



JFAアカデミー福島2期生歓迎会

(2) 学校給食費納入状況

給食費の未納問題について、本町の納入状況を調査したところ、小学校と中学校で若干未納者がいました。

学校給食法により、「給食費は保護者の負担とする。」と定められている以上、未納者に納入をうながすとともに、払いたくても払えない家庭については、就学援助など、助成制度の周知をはかることも大切だと提言しました。